

平成14年度 予算(案)特集

にいがた



市章

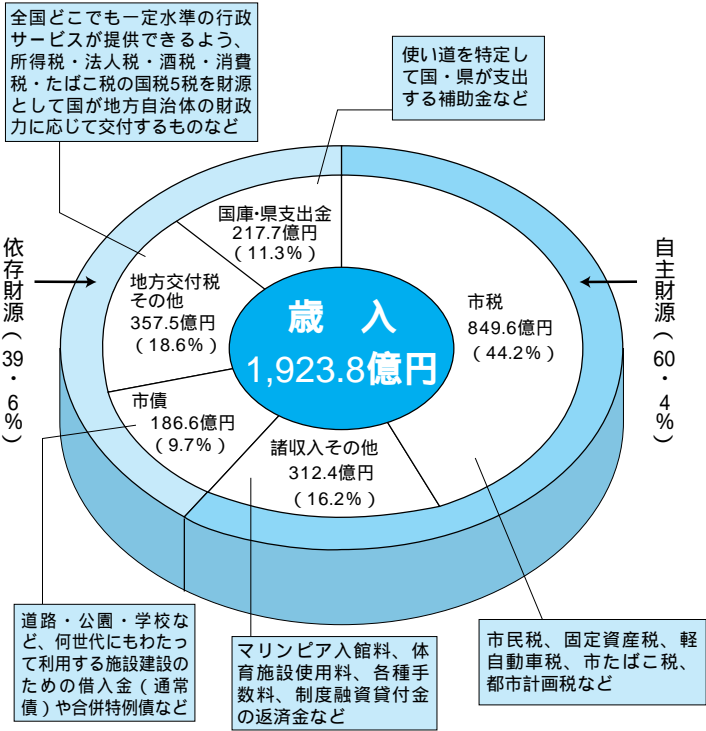


港のしるしと中央の五をもって、安政5年通商条約により指定された五港を意味し、これに雪環を頂かせて五港のひとつ新潟をあらわす

発行日 毎週日曜日 発行 新潟市 〒951 8550 編集 総務部広報課 印刷 第一印刷所
学校町通1 602 1

14年度予算案

地域経済の活性化と雇用対策を拡充 一般会計で2年続けてプラスの伸び



会計別予算

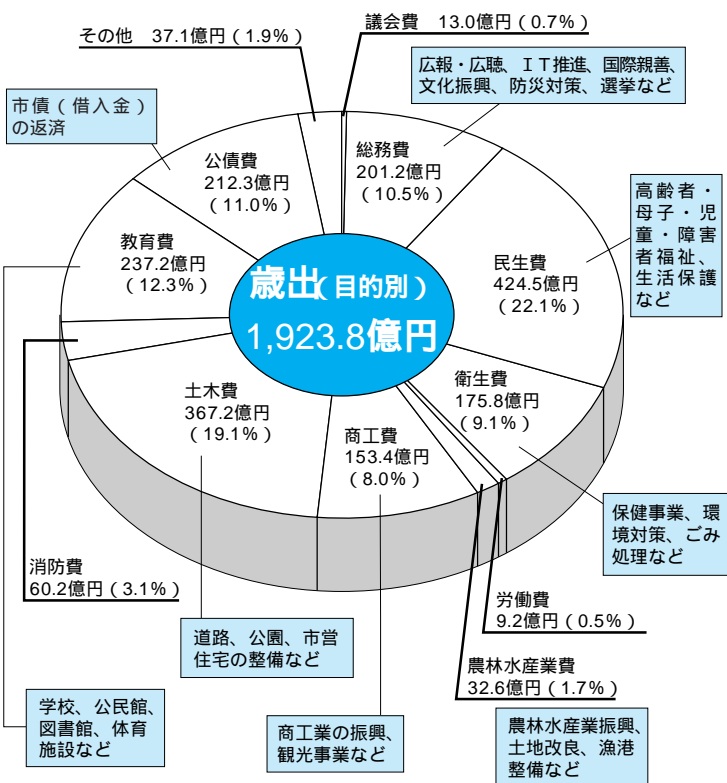
一般会計	1923億8000万円
国民健康保険事業会計	315億6795万円
国民健康保険事業の運営	
下水道事業会計	452億8461万円
公共下水道・農業集落排水の整備と管理運営、雨水対策、下水処理場の管理運営など	
中央卸売市場事業会計	8億4932万円
市中央卸売市場の管理運営、総合卸売センターの建設	
土地取得事業会計	7億9272万円
土地の先行取得	
老人保健事業会計	432億2728万円
老人保健事業の運営	
介護保険事業会計	215億5006万円
介護保険事業の運営	
駐車場事業会計	1億5240万円
西堀地下駐車場の管理運営	
その他	7億1819万円
と畜場事業会計 母子寡婦福祉資金貸付事業会計	
計	1441億4256万円
病院事業会計	161億7486万円
市民病院・大山台診療所の管理運営	
水道事業会計	177億9641万円
ガス事業会計	14億7387万円
黒埼地区のガス事業の運営	
合 計	3719億6770万円

(千円以下切り捨て)

市では、あす4日に開会する3月定例会市議会に、一般会計と9特別会計、病院・水道・ガス事業会計の平成14年度予算案など40議案を提案します。14年度当初予算は、一般会計の総額で1923億8000万円、13年度当初予算に比べて1.8%増加し、2年続けてプラスの伸びを確保。特別会計は約1441億4300万円、4.6%減となっています。

14年度予算は、社会経済状況に配慮し、地域経済の活性化と雇用対策を大幅に拡充しているほか、ワールドカップ開催、IT(情報通信技術)の進展に対応した地域情報化の推進、黒埼地区の合併建設計画の推進と政令指定都市を目指した合併・連携の促進に重点を置いています。(14年度予算案は、3月定例会市議会で審議されます)

一般会計予算案の内訳



紙面紹介

- [2・3面] 4つの都市像ごとの予算概要
 - [4面]
 - ・整備を進める主な施設
 - ・重点的に取り組む
- 「4つの横断的な柱」

市民生活の安定と地域経済の活性化



新潟市長

長谷川 義明

平成14年度の予算編成は、厳しい財政環境の中ではありますが、将来にわたり明るい希望を持つことができる地域社会をつくり上げることが力点を置いて、取り組みました。

法人市民税の落ち込みが見込まれ、市税全体としては13年度を下回る見通しですが、引き続き行財政改革に取り組み、また、将来とも健全で円滑な市政運営ができるよう、後年度負担に配慮した市債管理に努めるなど、創意と工夫を凝らしながら財源の確保に努めたところです。

予算の内容としては、市民生活のさらなる安定のため、福祉や教育などの分野できめ細かな配慮をしたほか、厳しい雇用情勢などを踏まえて、地域経済の活性化、雇用対策を大幅に拡大。そのための財源として基金の活用を図るなど機動的な対応をし、一般会計の総額では、2年続けてのプラスの伸びを確保しました。

さらに、いよいよ間近に迫ったワールドカップサッカー新潟大会に向けての取り組み、ITの進展に対応した地域情報化、政令指定都市を目指した合併・連携と市民への情報提供などを進めてまいります。

これからも、各施策の着実な前進を図り、市民の皆さんと共に市政の発展に努めてまいります。いつそのご協力をお願いいたします。